

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は将来、看護師になりたいと考えていたので、看護師の国家試験受験資格を得られる大学を探していました。そうする中で、同志社女子大学を知り、プラクティカル・サポートセンターや同じキャンパス内に薬学部があることに魅力を感じ、志望校に決めました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

1学期は、センター試験までのおおまかな勉強計画を立て、無理のないように少しずつ時間を増やして勉強するやり方を取りました。また、入試前に受験勉強だけに集中できるように、1学期は高校の定期テストに力を入れ、入試前の負担を減らせるように頑張りました。

〔夏休み〕

夏休みは、とにかく基礎固めをし、苦手な部分を明確にしていきました。過去問もこの時期から取り組みはじめ、出題の傾向の対策をしていきました。また、塾の夏期講習に参加していたので、授業のある日は、塾にこもって塾で出された勉強をして、授業のない日は、塾の勉強ではなく、自分で立てた計画をもとに自分の勉強を進め、塾に頼りすぎないように努力しました。

〔2学期～入試直前〕

私は、英語が苦手であるにもかかわらず、単語を覚えることを明日やる、明日やるという風に後回しにしていたので、英語に力を入れはじめたのはこの時期からでした。1日何十個も覚えなければいけないことになってしまったので、今となっては、1、2個でも良いからもう少し早く覚えることをすれば良かったなと後悔しています。入試の2、3日前からは、分からないことがあるとあせってしまうと思い、それまでやってきたことの復習に徹底し、新しく覚えることや、新しく問題を解くようなことはしませんでした。また、この時期はとくに体調管理に気を付けていました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

高校の行事は、受験のことを気にせず楽しみ、学校の休み時間は、友達との時間を大切にしました。それは私にとって癒しの時間でもありました。健康面については、睡眠は削らずにしっかり取り、体調を崩した時は、単語を数個覚える程度で済ませました。テレビやスマートフォンを一切見ないということにはせず、テレビの場合、食事したり、スマートフォンは夜に30分だけ好きに使って良いという決まりごとを作っていました。また、勉強が思うように進まない時、模試の判定があまり伸びない時は、無理に勉強に向かわず、友達と一緒にリフレッシュに外へ出かけたりました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験期は何かと制限をかけてしまいがちですが、しっかりと睡眠をとることもリフレッシュすることも受験には必要なことだと思います。また、入試当日は何か起るかわかりません。体調を整えて万全の状態で挑みましょう。私はあと1問落としていたら不合格になっていました。だから、分からない所で時間をかけず、分かる所からどんどん解いていきましょう！応援しています!!